



# 大学礼拝

Chapel News No.147

第147号 東北学院大学 2020年4月1日 入学・進級号

巻頭言



宗教部長

野村 信

## 「よく生きる心を 育てよう」

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。進級した在学生の皆さん、新しい学年、はりきって過ごしてください。どの人にとっても新しい一年が始まりました。この年、楽しいことや嬉しいこともたくさんあるでしょうが、辛いことや忍耐することも少なくないと思います。来春、良い一年を過ごせた、という感想を抱くことが出来るように心から願っています。

短い紙面ですから、一つのことしか語れません。本号で皆さんにお伝えしたいことは、東北学院大学が掲げているTGGグラウンドビジョン一五〇の、「豊かに学び、地域へ世界へ よく生きる心が育つ東北学院」というモットーについてです。本学のホームページを開くと最初に目に入ってくる言葉です。

「豊かに学び、地域へ世界へ」という前半部分は、第一四二号(二〇一八年九月三〇日発行)で語りましたので、詳細はそちらで見てください(H.P.: 東北学院大学/

チャペルニュース)。後半の「よく生きる心が育つ東北学院」という部分についてお話しします。

「よく生きる心」とは、様々な角度から解読できますが、ここでは、歴史を振り返り、「よく生きる」ことを語った、ギリシアの思想家たちの話しをしましょう。それは、有名なソクラテス、そしてプラトンが語り、さらにアリストテレスが、この言葉を『ニコマコス倫理学』において中心的な言葉として位置付けています。

「よく生きる」(in bene vivere (live well))は、幸福に達するために最も重要な生き方であり(本書第一巻四章)、政治的(共同体)にとって欠かせない姿勢です。徳を身につけ、正義や節制、愛などを学び、究極的には、「神的なるもの」を参照するようにとアリストテレスは語ります(第十巻第七章)。なるほど、「よく生きる」ためには、よい生き方を実践し、かつ最高に卓越したもの(神)について思い巡らすことが大切だというわけです。

もちろんアリストテレスは紀元前四世紀の人でしたから、キリストを指して言っているわけではありませんが、彼は人間だけが、神的なるものを観ることが出来ること語っています(同第八章)。

こうしてみると、ギリシア語で「人間」を、「アンソロポス」と呼びますが、これは「上(神を)観る眼」という意味があることにも納得がいくところです。ぜひ、本学での聖書の学びや礼拝での教えが、講義と共に欠かせないものであることを知って、「よく生きる心」を養ってください。



# LLIFE LIGHT LOVE



学長  
大西 晴樹

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。学長として、お一人、お一人を心から歓迎したいと思います。皆さんは、時代や環境が激しく変化する中で、東北学院大学において学業をスタートしました。

東北学院大学の「建学の精神」は、キリスト教に基づく人格教育を土台に、各自の専

門科目を修得することを目的としています。たとえ、専門はそれぞれ異なれ、学院大学の学生は、キリスト教に基づく人格教育という共通の教育を受けることとなります。

しかし、キリスト教に基づく人格教育といっても、キリスト教をこれまで学んでこなかった多くの皆さんにとっては、分かりにくいものがあるのではないでしょうか。東北学院大学は、それを分かりやすく伝えるために「スクールモットー」としてLLIFE LIGHT LOVEを掲げています。翻訳すれば、LLIFE(いのち)、LIGHT(ひかり)、LOVE(あい)がそれです。

LLIFE(いのち)という言葉について、生命体としての有限な「いのち」という意味以外に、聖書には、神から授かった永遠の「いのち」という意味があり、それゆえ、自分の「いのち」だけではなく、同じように神から授かった他者の「いのち」もお互いに大切にさ

れなければならぬという教えがあります。いわゆる、生命と人格の尊厳です。

LIGHT(ひかり)という言葉について、東北学院大学でもよく使われますが、聖書には、「あなたがたは地の塩、世の光である」という有名な言葉があります。この言葉には、塩は料理の際になくてはならないものですので、必要とされるようになりなさいという意味と、「世の光」、すなわち、この世の闇を照らす知識や行動の担い手としての「光」となりなさいという意味が込められています。「ひかり」とは、世の中を明るく照らし出し、導いていけるような人間になりなさいということとを教えているのです。

LOVE(あい)という言葉について、聖書には、「あらゆる知識に通じていようともし、「山を動かすほどの完全な信仰をもっていようともし」「愛がなければ何の益にもならない」、「自分を愛するようになあなたの隣人を愛しな

い」と述べて、「隣人愛」の大切さが説かれています。そして、その「隣人愛」を絶えず人間に示してくださっているのが、イエス・キリストなのです。

人間は、科学や技術を発展させ、生産力を高め、便利な社会を構築してきました。しかし、科学や技術の発展とは裏腹に、いまや人間は、地球温暖化により生活の舞台自体を喪失しつつあり、多くの人の生命の尊厳や生物多様性が簡単に奪われるようになってきています。東北学院大学は、建学の精神である「キリスト教に基づく人格教育」を土台に据え、専門教育を授ける大学です。皆さんは、大学礼拝に出席して聖書の言葉に耳を傾け、人格や人間性という何事にも肝心な土台を強固に構築し、それぞれの専門を極め、そこで修得した知識や技術を「地域や世界へ」役立ててもらいたいものです。

# CAMPUS MESSAGES

各キャンパス担当の先生たちからのご挨拶

Izumi



新入生の皆さん、入学、おめでとうございます。東北学院大学は毎年、二八〇〇人近くの入学者を迎えます。その前身である仙台神学校は今から一三四年前、一八八六年に生まれ、当時の入学者はわずか六名でした。現在のように大学が大きくなったとしても、創立の当初から大切にしていることがあります。それは毎日の礼拝を欠かさず守るということです。

泉キャンパスの正門から続く長い坂道を上ると、皆さんの目には大きな礼拝堂が見えるでしょう。礼拝では何をすればいいのか。疑問を持たれる方もいるかもしれません。礼拝は日常から離れ、自分と自分を超えた存在に向き合う時です。聖書の言葉を通して、自身を見つめなおす時間を共に過ごしましょう。



泉キャンパス

大学宗教主任  
吉田 信

Tagajo



工学部の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。中には、「工学部の自分にはキリスト教なんて関係ない」と思っている人もいるかもしれませんが。しかし、工学部の「教育目標」には「正しい倫理観を持つ工学技術者の養成」が掲げられています。科学技術はどれほど発達しようとも、結局は人間の使う「道具」ですから、善いも悪いも人間の使い次第です。

だからこそ、高度な専門的知識と技能を持つ工学技術者には、それに伴う倫理的な責任が求められます。日々の礼拝やキリスト教の学びを通じて、自分の行動や生き方を見つめ直し、工学の発展にふさわしい倫理観を身につけてくれることを期待しています。



多賀城キャンパス

大学宗教主任  
木村 純二

Tsuchitai



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また次の学年に進級する在校生の皆さんには、引き続き豊かなキャンパスライフが待っていることと思います。聖書には「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。生まれる時、死ぬ時、植える時、植えたものを抜く時：」（コヘレトの言葉3章1〜2節）と記されています。

ネットやSNSの普及で常に情報収集に追われる忙しい日々を送るわたしたちですが、東北学院大学ではひと時のざわめきを鎮めてパイオルガンの音色に癒され、聖書の語りかけに耳を傾ける時が与えられています。時には自分を静かに見つめ直し、今それれに与えられた時を大切に過ごしていきます。



土樋キャンパス

大学宗教主任  
出村 みや子



# 新入生へ先輩から

新入生の皆さん、ご入学おめでとうござい  
ます。早速ですが皆さんにお尋ねします。大学生  
活であなたは何を実現したいですか。卒業後は  
どんな仕事をしたいですか。  
わたしは入学当初から目標にしていた職業に  
就くことが出来ました。しかし今となって、教  
員になってみたかったな、音楽を習いたかつた  
な、留学したら何か変わっていたかな、など  
と思が残すことがあります。いろいろやってみな  
よ！学生のうちがチャンス！と、先生や先輩か  
らよく言われました。それでもわたしはお金が  
かかるから無理だ、どうせやっても意味ない、  
家族に反対されるだろう。そういったネガティ  
ブな思考に阻まれ、挑戦の一步が踏み出せま  
せんでした。  
やるかやらないか、決めるのは自分です。興  
味のあること、お金がかかる、無駄かもしれない  
けれど、ちょっとやってみよう、皆さんあ  
ると思います。そのどんな挑戦も、無意味では  
ないです。後の皆さんの考え方や、生き方を  
変える出来事になると思います。だから是非、そ  
の一步を大きく踏み出してみてください。後悔  
の無い4年間になりますように、応援しています。



経済学部経済学科卒

大橋 奈々

地方公共団体に就職

いよいよ始まった大学生活。新入生の皆さんは  
いま、どのような気持ちでしょうか。様々な事情  
があるかとは思いますが、私から皆さんに伝えた  
いことが一つあります。それは「大学生活」とい  
う備えられた時間を、ただひたむきに過ごして頂  
きたい、ということ。  
優等生表彰を受け、学生では初となる大学礼拝  
オルガニストなども経験させて頂いた私ですが、  
そんな私が東北学院大学を志望した理由など、「高  
卒の就職試験も落ちたし、何となくだけ一般大  
学に通いながらパイプオルガンをしたい」という  
ものに過ぎませんでした。  
しかし、この4年間を振り返ると、大学生活の  
有難さを痛感します。「なんか面白そうだな」と思  
ったことに対して、一途に向かい合うことができた。  
このことは、大学生の特権だったと思います。  
勉強、趣味、恋愛、どんなことでも構いません。  
一途に、ひたむきに取り組んでください。東北学  
院大学には、そのための時間と環境が整っていま  
す。  
どうか、皆さんの4年間が充実したものになり  
ますように！  
ご入学、おめでとうございます。

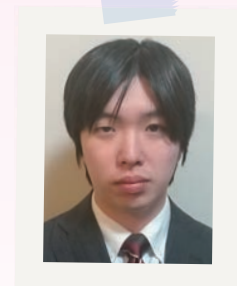


共生社会経済学科卒

藤江 惟志

船舶運航会社に就職

新入生の皆様、ご入学おめでとうござい  
ます。高校生活とは打って変わり、様々な予定を自分  
でたてていくようになります。この自由度の高  
さから、僕は自分の極めたことについて多く  
の経験と知識を得ることができました。僕の場合、  
ヨーロッパの文化や思想について関心があ  
り、中でもバロック音楽（ヨーロッパの17、18世  
紀前半までの音楽）が趣味の中心にあります。バ  
ロック音楽は勉強をしても演奏しても楽しい音  
楽なのですが、同世代でバロック音楽をする人  
はとても貴重でした。そのため僕は東北大学の  
リコーダーアンサンブル部のイベントに招いて  
もらったり、一般のアンサンブル会に混ぜても  
らったりと、外部での活動に力を入れていま  
した。それは、大学生活の自由度の高さが実現さ  
せてくれたことで、勉強のエリアが大学の中だ  
けではなく、僕の場合は大学の外で学ぶことも  
多かったのです。新入生の皆さんもぜひ、自由な  
時間を有効に使って、たくさんの経験と知識を  
日々吸収して、4年間の大学生活を充実させて  
いただきたいです。  
どうか、これから始まる新しい生活に多くの  
笑いと恵みがありますように！



総合人文学科卒

門脇 壮

自動車関連会社に就職



# 喜びの歌声、 高らかに！



一緒に聖歌隊で歌いましょう！  
どなたでも参加してください！

## 〈声を介した新しい出会い〉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。聖歌隊の指導をしている宗教音楽研究所の中川です。

宗教部聖歌隊は、大学礼拝で

歌うことを中心に、入学式、卒業式での演奏やクリスマス（メサイア）合唱など、多彩な活動をします。チャペルに集まる学生と先生により良い歌を届けるため、隊員たちは毎週木曜日の練習を重ねながら、普段は広々とした聖歌隊室で友達と学校生活やバイトのことなどを語り合い、ゆったりとした時間を過ごしています。隊員にはクリスマスチャンモそうでない人もいますし、音楽経験や合唱経験はまったく問いません。①〜④のどれか一つにでも関心が有るあなたを歓迎します。

- ① 歌をうたう
- ② 声を出して自分を表現する
- ③ 声と声とを合わせて音楽をつくる
- ④ ステージに立つ

私は泉キャンパスでは「音楽（混声合唱）」の授業も担当しています。授業を通じて「合唱＝地味で退屈」というイメージがうち壊され、生身の声と声とのぶつかり合いを皆さんが大いに楽しんで帰って行く様子を見ることは大きな喜びです。聖歌隊でさらに継続的に合唱することによって、スマホを介したやり取りでは決して得られない声と声との直接的なコミュニケーションの喜びを、繰り返し味わっていきましょう！授業も聖歌隊も、いつでも皆さんをお待ちしています！



聖歌隊指導者  
中川 郁太郎



普段は木曜日の午後に全体練習をしています。部室は礼拝堂の下にありますので、一度見学に来てください。

[choirtgu@gmail.com](mailto:choirtgu@gmail.com)  
ツイッターアカウント  
@chor\_gakuinまで

# 大学礼拝について

## 基本的なことを知っておこう

東北学院大学では、講義のある日は大学礼拝を毎日行っています。これは創立した時から現在にいたるまで不変であり、「建学の精神」の具体的な現れです。新入生も在校生も大学礼拝の大切さを知って、午前中にキャンパスにいる時には必ず出席しましょう。皆さんの学びに欠かせない「軸」であり、「養い」です。大学礼拝は教会の礼拝より短く設定され、学生の皆さんを対象に準備されています。

なお、音楽礼拝や英語礼拝など多少変則的なスタイルの礼拝も行っていますが、大学礼拝の基本的なことをお伝えします。

3

### 【聖書】

*Bible*

司会者が聖書を開くように指示します。礼拝堂に早く来た人は、あらかじめ開いて読んでおくことをお勧めします。聖書は旧約聖書と新約聖書で構成されています。それぞれに頁数が付されていますのでよく確認してください。聖書には、人が生きていく上で必要なのですべてのことが網羅されていると受け止められてきましたので、一語一句、大切な教えとして聞くように心がけましょう。

2

### 【讃美歌】

*Hymn*

司会者が讃美歌の番号を告げます。起立して、心をこめて、声高らかに、一緒に讃美歌を歌いましょう。歌詞を味わうことも大切です。そのうち、自分の好きな讃美歌もできるでしょう。

1

### 【前奏】

*Prelude*

第1校時が午前10時20分に終わるとチャイムが鳴り、礼拝堂ではオルガンの前奏が始まります。礼拝堂の最前列から順に着席して下さい。私語は慎み、電子機器はしまって、心を静めて礼拝に備えましょう。

6

### 【頌栄】

*Congregational Response*

神の栄光をたたえる短い讃美歌です。頌栄の後、黙祷を捧げます。

5

### 【祈祷】

*Prayer*

司会者は、聖書を説いた後、神の恵みと平安、導きを願う祈りを捧げます。祈りの最後に、司会者と出席者全員で「アーメン」と言います。「そのとおり」の意味です。祈りをみんなで共有する思いで、「アーメン」と唱和しましょう。讃美歌を歌った後の「アーメン」も同じ意味です。

4

### 【説教】

*Teaching*

司会者は、本学の宗教部の先生たちやクリスチャンの先生方であり、教会の牧師の方々が担当される日もあります。どの人も、その日に朗読した聖書に基づいて話されます。一般に「説教」というと、「叱られている」という意味もありますが、「礼拝の説教」は、「聖書を説いて教える」ということと理解してください。大切なことは、聖書の「福音」を聞くことであり、人類への「神の貴い愛」を知ることです。



7

### 【後奏】

*Postlude*

オルガンの後奏は、「世へ派遣」を意味し、皆さんを礼拝堂から新しい一日へ送り出します。





## 学生の皆さん

昨年度、大学礼拝を担当された先生方、今年度、担当される先生方をご紹介します。

本学の大学礼拝を担当している先生方は、宗教部の先生たちや各学部にも所属するキリスト者の先生たちです。みなそれぞれの専門分野で活躍されており、礼拝では聖書を豊かに説き明かされます。

### ●松本宣郎先生

(理事長・院長：前列中央左)

古代ローマ史を専門とし、本学の学長、そして理事長・院長をこの春まで担当され、退任されました。貴い働きに心より感謝いたします。

### ●鐸木道剛先生

(文学部教授：前列中央左端)

キリスト教美術が専門で、正教会のイコン(聖像)をはじめ、東欧の芸術にも精通しています。

### ●野村 信先生

(宗教部長：前列中央右)

十六世紀のジュネーヴの宗教改革者・カルヴァンの研究が専門です。大学の宗教活動の責任者です。

### ●川島堅二先生

(総合人文学科長：前列右端)

ドイツの神学者シュライアマハーを専門とし、聖書に登場する角笛などの収集・吹奏が趣味です。



### ●秋葉 勉先生

(教養学部教授：後列右1)

アメリカ文化と文学が専門で、趣味は家庭菜園、釣りやキャンプなど、アウトドア派です。

### ●中川郁太郎先生

(宗教音楽研究所所員：後列右2)

教会音楽が専門で、声楽家、聖歌隊指導者。

### ●大澤史伸先生

(教養学部教授：後列右3)

専門は社会福祉です。非営利組織(学校、病院、福祉施設等)における理念継承問題について研究をしています。

### ●原田浩司先生

(大学宗教主任：後列右4)

スコットランド宗教改革や長老教会の研究が専門です。本学(教養学部・教養学科)の卒業生です。

### ●阿久戸義愛先生

(大学宗教主任：後列右5)

二〇世紀の神学者カール・バルト研究がおもな専門です。柔らかな語り口調が好印象です。

### ●田島 卓先生

(大学宗教主任：後列右6)

旧約聖書を専門としています。クラシック音楽が趣味で、オーケストラにも所属しています。

### ●吉田 新先生

(大学宗教主任：後列右7)

新約聖書が専門で、聖書翻訳事業にも携わっています。宗教部の書記を担当しています。

### ●長島慎二氏

(工学部准教授：後列右8)

流体工学が専門です。旭ヶ岡寄宿舎舎監も兼任。

なお、写真に掲載されていない木村純二大学宗教主任を始め、他に学内の数名のクリスチャンの先生方がいます。皆様、今年度もよろしくお願ひいたします。

## 第15回

# 「学生のためのオルガン公開講座」のお知らせ



大学オルガニスト  
**今井 奈緒子**

この講座は、礼拝の楽器として用いられているオルガンに親しみ、演奏することを目的としています。専門家である本学の礼拝オルガニストが、各キャンパス礼拝堂のオルガンをを用いて指導します。単位に関係のない講座ですので、卒業まで継続して受講することも可能です。受講場所も開講時間に合わせて、希望のキャンパスで受講することができます。

### ◆ 受講資格

- ・楽譜を読むことができ、鍵盤楽器の演奏に多少なりとも心得があること
- ・レッスン、練習に励む意欲があること

### ◆ 対象

本学に在籍する学生  
(所属学部、学部生・大学院生を問わず)

### ◆ 内容

オルガンの奏法と作品を学ぶ  
(個人またはグループレッスン形式)  
ガイダンスと修了演奏会を実施します。

### ◆ 場所

土樋・多賀城・泉各キャンパス礼拝堂

### ◆ 受講料

年間一五、〇〇〇円

### ◆ 期間

五月～十二月(レッスンは月二回ペースで実施。その他自主練習、演奏会準備)

### ◆ 募集人数

各キャンパスにつき若干名

### ◆ 講師

小野なおみ(礼拝オルガニスト)  
今井奈緒子  
(教養学部教授、大学オルガニスト)

### ◆ ガイダンス開催日

受講希望者は所属キャンパスに拘わらず、五月七日(木)十六時に、泉キャンパス音楽研究室(礼拝堂一階)の前へ集まってください。ガイダンスの後に受講の意思確認をし、講師との顔合わせ、レッスンの相談、調整等を行います。

出席不可能な場合は事前に宗教音楽研究所までご連絡ください(022-375-1185)。なお、希望者多数の場合は相談、抽選ないし後日オーディションをさせていただく場合があります。

## 礼拝オルガニストのみなさん 2020年度

- (上段左から) 京極扶美恵、渡辺真理、長谷部真理子、日野百合子、菅原淑子、小野なおみ、加藤晶子  
(下段左から) 阿部和子、大泉真理、今井奈緒子、坂上芙美恵、今高和枝、亀井睦子



### 宗教部

## 聖歌隊へのお誘い

みなさん、一緒に歌を歌いませんか。中学、高校とみなで合唱する楽しさを味わった人は大勢いると思います。大学でもぜひ一緒に楽しく歌いましょう。本学の「聖歌隊」は、長く親しまれてきた合唱曲や宗教音楽、また讃美歌を歌い、定期演奏会で発表したり、クリスマスにメサイアを歌ったり、と楽しい企画が幾つもあります。指揮者、ボイストレーナーの先生がしっかり指導してくれます。

歌うことの好きな方は大歓迎です。今年度の第一回の練習は、四月九日(木)の午後三時より、礼拝堂の下の音楽室で行います。以後、木曜日の午後三時から定期的に練習します。是非、参加しましょう。

## 編集 後記

新入生の皆さん、緑の広がる両キャンパスで良く学び、語り、活動し、楽しい大学生活を送ってください。午前中講義がある時は、各キャンパスで毎日行われる大学礼拝へ出席し、「よき心」の養いをしてください。貴重な時間になると思います。

なお、今夏の八月三日(月)から一泊二日でサマー・カレッジが開催されます。誰でも参加できますので、礼拝堂の入り口に七月初旬に準備されるチラシを見てください。聖書の学び、友や先生たちとの語り合いなど、楽しい企画が用意されます。

二〇二〇年四月一日

東北学院大学宗教部

編集 野村 信

〒九八〇-185-11

仙台市青葉区土樋二丁目

三番一号